

《研究課題名》非造影 CT による急性大動脈解離の診断能と、診断困難症例に関連する臨床的因子の検討：造影 CT を対照とした後ろ向き研究

### 《研究対象者》

2015 年 1 月 1 日から 2025 年 12 月 31 日までの期間に急性大動脈解離が疑われ、滋賀医科大学附属病院で胸腹部 CT が撮影された方。

### 研究協力をお願い

滋賀医科大学において上記研究課題名の研究を行います。この研究は、対象となる方の診療情報（カルテ情報および画像データ）を用いて行う研究であり、研究目的や研究方法は以下の通りです。情報の使用について、直接ご説明して同意はいただきず、このお知らせをもって説明させていただきます。対象となる方におかれましては、研究の主旨・方法をご理解いただきますようお願い申し上げます。なお、本研究への情報の提供を希望されない場合、あるいは、本研究に関するご質問は下記（8）の問い合わせ先へご連絡ください。

#### （1）研究の概要について

《研究期間》 滋賀医科大学学長許可日 ～ 2029 年 3 月 31 日

《研究責任者》 滋賀医科大学 放射線科 助教 井上 明星

#### （2）研究の意義、目的について

《意義》：急性大動脈解離の診断には造影 CT が有用ですが、副作用や腎機能低下により造影剤を使用できない場合があります。非造影 CT での診断限界や、見落としやすい症例の特徴を明らかにすることは、救急医療における安全性の向上に繋がります。

《目的》：非造影 CT における急性大動脈解離の診断精度を再検討し、診断が困難となる患者背景や病型を明らかにすることを目的とします。

#### （3）研究の方法について

《研究の内容》：2015 年から 2025 年の間に当院で大動脈解離の疑いにより CT 検査を受けられた方のデータを対象とします。過去のカルテから臨床情報（症状、血液検査結果等）と CT 画像を収集し、専門医が非造影 CT での診断能を解析します。

《利用する情報の項目》：年齢、性別、身長、体重、主訴、血圧・心拍数の値、血液生化学検査データ、CT 画像および手術結果。

#### 《情報の管理について責任を有する者》

国立大学法人 滋賀医科大学 学長 上本 伸二

#### （4）個人情報等の取扱いについて

本研究を実施するには、あなたの情報から、あなたを特定できる情報（氏名、生年月日、住所等）を除き、代わりに本研究用の ID を付けることで、その情報が誰のものであるか分からない状態

## オプトアウト

にします。ただし、必要な場合に特定の個人を識別できるように、あなたと ID を結び付けることができるような加工をした情報を残します。尚、加工された情報は、学内のアクセス制限されたサーバ（またはインターネットから隔離された端末）内で厳重に管理されます。

### （５）研究成果の公表について

本研究の成果は学会発表、学術雑誌およびデータベースなどで公表します。公表の際には個人が特定されることがないように、十分配慮いたします。

### （６）研究計画書等の入手又は閲覧

本研究の対象となる方又はその代理人の方は、希望される場合には、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で本研究に関する研究計画書等の資料を入手・閲覧することができます。ご希望の場合には、下記（８）の問い合わせ先へご連絡ください。

### （７）利用又は提供の停止

本研究の対象となる方又はその代理人の求めに応じて、対象者の方の情報を本研究に利用（又は他の研究に提供）することについて停止することができます。停止を求められる場合には、下記（８）にご連絡ください。

### （８）本研究に関する問い合わせ先

担当者：滋賀医科大学 放射線科 井上明星

住所：520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号：077-548-2288

メールアドレス：akino@belle.shiga-med.ac.jp